

2025年4月からの 救急外来における小児科診療について

令和7年4月より小児科常勤医が減少するため、救急外来では17～21時の小児科医師の常駐は中止致します。

時間外の小児救急患者さんに対しては全科総合当直医の呼出しに応じ小児科待機医師が対応致しますが、直ちに対応できない場合も御座います。

休祭日勤務帯(8:30～17:00)の小児科常駐医はこれまで通り配置致します。ご理解、御了承のほどお願い申し上げます。

令和7(2025)年4月1日(火曜日)より

	日勤帯(8:30～17:00)	夜勤帯(17:00～翌朝8:30)
平日	小児科医常駐なし(呼出対応)	小児科医常駐なし(呼出対応)
休祭日	小児科医常駐あり	小児科医常駐なし(呼出対応)

令和7(2025)年度 人間ドック料金改定のお知らせ

1.改定時期 令和7(2025)年4月1日(火曜日)実施分より

2.改定内容 (税込み)

コース名	現行料金	改定料金
1日ドック(男性)	42,834円	47,300円
1日ドック(女性)	45,034円	49,500円
2日ドック	67,100円	71,500円
単独脳ドック	39,050円	42,900円
定期健診 A	17,072円	18,700円
定期健診 B	10,824円	12,100円

お問い合わせ先: 予防医学センター ☎0479-62-3822

がん患者サロン 開催のお知らせ

日時/3月17日(月) 14:00～16:00

場所/医療連携福祉相談室

参加費/無料

お問い合わせ先: 医療連携福祉相談室 ☎0479-63-8111(代)

基本理念

すべては患者さんのために

私たちは地域の皆さまの健康を守るために、常に研鑽に努め、医学的にも経済的にも社会的にも適正な模範的医療を提供します。



地方独立行政法人

総合病院 国保旭中央病院



お知らせ

- 初診外来受付時間…… [7:45～11:00]
自動受付機は、6:30からご利用いただけます。
- 自動精算機稼働時間… [7:00～20:00]
- 駐車場巡回車…………… [8:30～14:00]

家庭で役立つ 健康 豆知識

花粉症とくすり



花粉症の有病率は2019年の時点で4割超にのぼると関連学会の調査データがあり、多くの国民を悩ませ続ける社会問題です。政府も花粉症対策に取り組んでいて、その中の一つに全国の花粉情報の集積というものがあり、旭中央病院でも花粉測定を行って旭市のデータを供出してあります。

春先の2月から4月の関東地方での花粉症は主にスギ花粉であり、この場合スギ花粉をアレルゲン(アレルギー反応の原因となる物質)として、ヒスタミンなどのアレルギー症状を引き起こす物質が体内で放出され、アレルギー反応が起こります。

症状としてくしゃみ・鼻水型と、鼻づまり型があります。またアレルギー性結膜炎も高い頻度で合併します。治療に使われる薬をご紹介します。

抗アレルギー薬

花粉症に対して初期から予防的に用いられます。抗アレルギー薬は体内でヒスタミンが放出されるのを抑える作用があり、鼻づまりに対しても有効とされています。

抗アレルギー薬は遅効性なので、花粉が飛び始める1～2週間前から予防的に飲み始め、飛散時期が終わるまで飲み続けることが効果的です。アレルギー性結膜炎に対しては点眼薬を用います。

第二世代抗ヒスタミン薬

放出されたヒスタミンが働くのを抑えます。効き目が早く、症状として出現しているくしゃみ・鼻水を止めるのに有効です。食事や併用する薬との効き目が、弱くなったり強くなったりするものもあるので飲み方に注意してください。一部の緑内障や前立腺肥大の方は使用できません。

第一世代に比べると眠気や抗コリン作用といった作用が弱く、運転や危険を伴う作業をする場合の危険性は減っていますが、引き続き注意は必要です。

ステロイド外用剤

ステロイドは炎症を鎮める作用が強力な薬で、アレルギーにとどまらず多くの急性疾患に用いられます。花粉症では主に点眼薬や点鼻薬として使用されます。ステロイド点鼻薬の場合、頓用では効果が期待できないため、正しい使用方法や回数で使用する必要があります。

症状が強い場合は内服治療を選択する場合がありますが、その場合は効果が強力で副作用も強くなるのであまり長期での使用はできません。(一週間程度)

分子標的薬

上記の治療では効果がない重症のアレルギー性鼻炎の場合に対象となります。12週を目安に4週間ごとに皮下注射します。この治療は抗ヒスタミン薬と一緒に使用します。注射薬ですので治療を受ける方のストレスは大きくなります。